



田園調布中だより

発行日 令和7年9月19日
令和7年度 第5号(9月号)
大田区立田園調布中学校
校長 田谷 至克

日本の魅力

校長 田谷 至克

仲秋の候、保護者・地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解・ご支援賜りまして、心より感謝いたします。

夏休み期間中は、まさに身の危険を感じるような暑さが続き、日中は外出することすら躊躇うような毎日でしたが、各家庭のみなさまは健やかに過ごされましたか。

さて、**1学期の終業式**では、iPhone で有名なアップルの創業者スティーブ・ジョブズさんについて話をしました。ジョブズさんがデザインのヒントをつかんだのは、彼が何度も訪れていた日本からだったそうです。彼は焼き物の街、滋賀県信楽の「信楽焼」や、日本の「新版画」などからインスピレーションを得たそうです。そして、3年生が修学旅行で体験した「禅」にも興味をもちました。まさに、ジョブズさんの発想の原点は日本にあります。私たちにとっては、あまりにも身近すぎて、当たり前と思うこと、見失っていたことが、外国の方々には、単なる珍しさだけでなく、深い魅力や素晴らしさとして感じ取られるのでしょうか。

そこで、こどもたちには「この夏は自らの感性を一層磨いて、その感性を様々な夏の課題の中で表現してみてください。」という講話をしましたが、こどもたちの様子はいかがだったでしょうか。

9月1日(月)の**2学期始業式**では、バスケットボールのアジアカップに日本代表として出場していたジョシュ・ホーキンソン選手について話をしました。2年前の2月、彼は日本国籍を取得しました。身長は208cm、アメリカのワシントン州シアトル出身、ワシントン州立大学時代には得点でもリバウンドでも大活躍しましたが、残念ながらアメリカのプロバスケットボールリーグ NBA には指名されなかったそうです。そこで、大学卒業後は、自分の身長を生かすことのできる日本でバスケットボールを続ける決意をしました。しかし、来日当初は、日本語が理解できない、友達がいないなどでホームシックにかかり、一人部屋に引きこもっていました。その様子を理解したアメリカにいる父親が、「ジョシュ、とにかく外へ出ろ。そして冒険しろ。」とアドバイスを送りました。ようやく彼は街に出て、日本の文化を受け入れるようになりました。「和」の大切さを学び、趣味はカラオケで、日本語でダジャレも言います。「なぜ日本に帰化したのか」と問われると、「自分を成長させてくれた日本に恩返しをしたかった。」そうです。

そこで、こどもたちには「自分のためだけの学習、生徒会・委員会活動、部活動にとどめることなく、周りにいる人たちに感動や勇気を与えたり、みんなを笑顔にして幸せを運んできたたりできたならば、それは素晴らしいことです。」とエールを送りました。学校行事盛りだくさんの2学期ですが、こどもたち一人一人の活躍を大いに期待しています。保護者・地域の皆様におかれましても、引き続き、こどもたちが頑張る姿をあたかく見守っていただけると幸いです。

なお、夏季休業前にご案内したガス管改修工事は、8月下旬には完了しました。ご理解・ご協力いただきまして、ありがとうございました。

<9月1日 防災の日>

災害や事件等で集団下校が必要と学校長が判断した場合は、地域別に集まり、人員の確認をして、集団下校を行います。そこで、本校では、毎年9月1日には「集団下校訓練」を実施しています。いざという時に備え、下の表を参考に、通学経路や連絡先等についてもご家族でご確認をお願いいたします。

地 域	担当教員	校庭避難場所 (引率場所)
田園調布1丁目		体育倉庫前 (校門出て突き当たりまで200m直進)
田園調布2丁目		砂場前 (校門出て直進100m)
田園調布3・4丁目		北サッカーゴール (田園調布駅)
田園調布5丁目		3年昇降口付近 (田園調布駅)
*徒歩区域外		南サッカーゴール前 (校門出てすぐ)
電車区域外		2年昇降口付近 (田園調布駅)
(全体調整)		

*徒歩区域外とは・・・北嶺町・西嶺町南雪谷・雪谷大塚・石川町・田園調布本町・田園調布南・その他

○**第 65 回東京都中学生吹奏楽コンクール**において本校の吹奏楽部が、2 年連続「銀賞」に輝きました。私も府中の森芸術劇場まで出かけて、序曲「きこり」の演奏に耳を傾けました。一人一人の演奏に躍動感があり、音色にも大きな響きがありました。

＜吹奏楽部顧問より＞

8 月 8 日に都内 519 団体が参加する東京都中学生吹奏楽コンクールに出演しました。演奏した序曲「きこり」はアメリカの仕事歌民謡メドレーです。19 人の部員のうち、家庭の事情で 3 名が大会に参加できなかったのは残念でしたが、練習には参加できました。また、海外派遣生として 2 名が海外に行ったため、全員がそろって練習できたのは大会前日だけでした。課題を解決しきれないまま本番を迎えましたが、当日は実力の 100%以上を出せたと思います。金賞には惜しくも 8 点足りず 312 点で銀賞でした。(280 点から銀賞、320 点から金賞)

夏休みの練習では毎日が進歩でした。「中学生ってすごいな」と感じます。審査員からの講評にもたくさんのお誉めの言葉をいただき自信になりました。

今後は学習成果発表会に向けて、また来年度の大会に向けて努力を重ねていきたいと思います。聴いてくださる方々に心からの拍手をいただけるように。



○**東京都中学校ソフトテニス選手権大会男子団体の部**において、見事、東京都大会出場を果たしました。声を掛け合いながら、毎日、遅くまで練習をしていた成果があらわれました。

＜ソフトテニス部顧問より＞

予選ではリーグ戦で 1 度敗れた学校に再び挑むことになりましたが、見事勝利し、大田区 5 位という結果で都大会出場を勝ち取りました。

都大会ではなれない舞台でも堂々とプレーし、1 回戦を突破。惜しくも 2 回戦で敗れましたが、これまでの努力と最後まで諦めない心がこの結果を導いたのだと思います。また、仲間を信じて声を掛け合う姿に感動をもらいました。

3 年生は引退となりましたが、部活動で培った経験や精神力を受験勉強やこれからの人生に活かして行ってほしいです。1・2 年生は 3 年生の想いを引き継ぎ、今後もチーム一丸となり、さらなる成長を目指して頑張ってほしいと思います。

＜ソフトテニス部顧問より＞

今大会の中心メンバーとなる 3 年生 5 人が、2 年前に入部した時、都大会に出場するのは難しそうだなぁと思ったのが正直な感想です。彼らが 2 年生の時の団体戦は大田区最下位。そこからの今回の結果は、彼らの努力が実を結んだものでしょう。今回の団体戦メンバーに入った 2 人の 2 年生。サポートメンバーの 1 年生が 1 人の計 8 人で団体戦に臨みました。都大会への道のりは長く険しいものでした。予選リーグは 3 位で都大会決定戦トーナメントへ。都大会へ出るためには A リーグの 2 位と B リーグの 2 位に勝たなければならない。試合は接戦。もつれにもつれ、試合はファイナル。大田区で 1 番大きな田園調布応援の声の中、そして、勝ち切ったチームには嬉し涙が見られました。都大会では 2 回戦敗退となりましたが、彼らの中に残る一生の思い出になったことだと思います。様々な感動をありがとう。



○第 78 回大田区立中学校陸上選手権大会

9 月 10 日 (水)、駒沢オリンピック公園陸上競技場にて大田区立学校全 28 校が参加し、いわゆる「区陸」が開催されました。本校からも、3 年生が 11 名、2 年生が 6 名、1 年生が 11 名の計 28 名が代表として出場しました。当日は大変蒸し暑いコンディションでしたが、こどもたちは互いに声を掛け合い、励まし合いながら競技に臨みました。

その結果、**共通男子 3000m で 3 年男子が見事に優勝、1 年男子 4 × 100m で 6 位入賞など、すばらしい成績を残してくれました。**来年度もこの勢いを継続してほしいです。